

人材開発支援助成金

人材開発支援助成金は、労働者の職業生活設計の全期間を通じて段階的かつ体系的な職業能力開発を効果的に促進するため、事業主等が雇用する労働者に対して職務に関連した専門的な知識及び技能の習得をさせるための職業訓練等を計画に沿って実施した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等を助成する制度です。

概要

コース名	訓練メニュー	対象労働者	対象となる訓練
人材育成支援コース ※2023.4 新設	人材育成訓練	正規 非正規	職務に関連する10時間以上のOFF-JT
	認定実習併用職業訓練	正規 非正規	企業の中核人材を育てるために実施するOFF-JTとOJTを組み合わせた訓練
	有期実習型訓練	非正規のみ対象	非正規労働者の正社員転換を目的として実施するOFF-JTとOJTを組み合わせた訓練
事業展開等リスキリング支援コース ※2022.12 新設		正規 非正規	事業展開、DX化、グリーン・カーボンニュートラル化に必要な知識・技能を習得するための訓練
人への投資促進コース ※2022.4 新設	高度デジタル人材訓練/成長分野等人材訓練	正規 非正規	高度デジタル人材(ITSSレベル3、4以上)の育成や大学院(海外を含む。)での訓練
	情報技術分野認定実習併用職業訓練	正規 非正規	IT未経験者に対するOFF-JTとOJTを組み合わせた訓練(IT分野関連の訓練)
	定額制訓練	正規 非正規	定額制訓練(サブスク型研修サービス)を利用した訓練
	自発的職業能力開発訓練	正規 非正規	労働者が自発的に受講した訓練費用を負担する事業主への助成
教育訓練休暇付与コース	長期教育訓練休暇等制度	正規 非正規	労働者が働きながら訓練を受けられるよう長期休暇制度や短時間勤務等制度を導入
		正規 非正規	労働者が働きながら訓練を受けられるよう、3年間に5日以上教育訓練休暇を導入

訓練の一例

人材開発支援助成金(人への投資促進コース) 定額制訓練活用例

これまでの人材育成の課題

- 個々の従業員にあった訓練を探すのが手間
- 個々の訓練ごとに契約を結ぶので費用がかさむ
- 訓練のためのまとまった時間を確保するのに一苦労
- 業務の都合や移動の負担があり、集合型研修の実施が難しい



A社(中小企業)
従業員数: 90名
事業内容: 病院業

サブスク型研修サービスの実施

教育訓練機関: 外部的教育訓練機関
受講コース: 院内研修(eラーニング・定額受け放題)
訓練目標: 新入職員から管理職までの幅広い層に対応した院内研修
受講料等: 420,000円(100名まで1か月3.5万円×12月の料金)

人材開発支援助成金の活用

252,000円 (= 受講料等: 420,000円×60%)

サブスク型研修サービスの効果

- 1つの契約で幅広い層に訓練を行うことができた
- 個々の従業員にあった訓練を探す手間が省けた
- 訓練費用がこれまでより安価で抑えられた
- eラーニングでの研修のため、従業員それぞれがすきま時間に訓練を行うことができ、訓練のためにまとまった時間を確保する必要がなくなった
- eラーニングでの研修のため、研修会場に従業員を集める必要がなくなった



<< 企業全体の生産性向上 >>

事業展開等リスキリング支援コースの活用例

事業展開 農業における鳥獣被害を解決するためのドローン利用による鳥獣監視・駆除システムを構築し、他社への展開を図るため、これらに必要な「ドローンライセンス講習」を受講させ、パイロットを養成した	事業展開 新たにリフォーム事業を立ち上げるため、リフォーム工事の申込となる従業員に「内装の部分ペーパー実践技術コース」を受講させた
事業展開 現状外部委託しているECサイトを自社で運営できるよう、コンテンツ制作や情報更新、ITリテラシーなどの専門知識を持った人材を育てるため、従業員に「WEBクリエイターベーシック」を受講させた	事業展開 介護事業を営んでいるが、利用者提供するお茶をより安心安全、美味しいものにするため、自社で種のお茶から収穫、精製作業まで行えるよう「種作業研修」を実施した
DX化 社内DX化を推進していくため、Excel・アプリ作成・データ活用など、様々なコンテンツをすき間時間に受講できる定額制(サブスク型)サービスによる「デジタル人材育成研修」を導入した	DX化 医療DX推進に対応できる人材を育成するため、ITやDXの基礎、システムの設計・開発を網羅した「医療DX人材育成プログラム」を受講させた
DX化 建設業における請求書の仕訳・確認、労務管理、集計などのバックオフィス業務の自動化を図るため、「デジタル人材育成サービス」を受講させた	DX化 CADを扱える者が社内ほとんどおらず、商品の開発、改良が進んでいないことから、これらを円滑化するため、「2次元CADによる機械製図技術」を受講させた
DX化 ドローンを使った検査業務へ移行しつつあることから、従業員に「フライド基本操縦コース」「非破壊検査基本コース」「ドローン減災士」を受講させた	グリーン・カーボン・ニューラル化 農薬の散布にトラクターを使用していたが、CO2等の温室効果ガスの排出をゼロにするため、ドローンを導入することに、「農業用ドローン認定講座」を受講させた

人材開発支援助成金「事業展開等リスキリング支援コース」の詳しい要件を記録したパンフレットや助成金の申請に必要な告知は、北海道労働局のホームページに掲載しています。どうぞご覧ください。
北海道労働局雇用助成金さっぽろセンター6階 (011-788-9070)

コース・訓練別の助成率一覧

訓練メニュー		経費助成		賃金助成		OJT助成	
		中小企業	大企業	中小企業	大企業	中小企業	大企業
人材育成支援コース	人材育成訓練	正規雇用:45%	正規雇用:30%	760円	380円	—	
		非正規→非正規維持:60%					
		非正規→正社員化:70%					
	認定実習併用職業訓練	45%	30%	760円	380円	20万円	11万円
	有期実習型訓練	非正規→非正規維持:60%		760円	380円	10万円	9万円
非正規→正社員化:70%							
事業展開等 リスキリング支援コース		75%	60%	960円	480円	—	
人への投資促進コース	高度デジタル人材訓練	75%	60%	960円	480円	—	
	成長分野等人材訓練	75%		国内大学院の場合 960円		—	
	情報技術分野認定実習 併用職業訓練	60%	45%	760円	380円	20万円	11万円
	定額制訓練	60%	45%	—		—	
	自発的職業能力開発訓練	45%		—		—	
	長期教育訓練休暇等制度	制度導入助成 20万円		6000円/日		—	
教育訓練休暇付与コース		制度導入助成 30万円		—		—	

賃金要件・資格手当等要件

人材開発支援助成金を含む雇用関係助成金では、企業における賃金加算の取組みを支援するため、賃金を向上させた事業主に対して、助成額の引き上げを行っています。

人材開発支援助成金では、事後的に賃金要件または資格手当等要件を満たした場合に、別途申請することで、割増分の追加支給を受けることができます。

詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。雇用助成金さっぽろセンター（北海道労働局）へお問い合わせください。

また、北海道労働局では「人への投資促進コース」「事業展開等リスキリング支援コース」の特設ページを開設していますので、ぜひご覧ください。

人材開発支援助成金 北海道労働局

検索



(人への投資促進コース) (リスキリング支援コース)

● 厚生労働省ホームページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html